【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2005-33779(P2005-33779A)
【公開日】平成17年2月3日(2005.2.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-005
【出願番号】特願2004-171636(P2004-171636)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　29/08　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/10　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　12/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　13/00　３０７Ｚ
Ｇ０６Ｆ　13/10　３３０Ｂ
Ｈ０４Ｌ　12/28　２００Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月7日(2006.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
有線インターフェースと無線インターフェースとを有するデバイスと通信可能な情報処理装置において、
前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするための第一の通信設定を実行する第一の通信設定実行手段と、
前記第一の通信設定の実行後に、前記有線インターフェース経由で前記デバイスと通信して、前記無線インターフェースを使用して前記デバイスとの間で通信を可能とするための第二の通信設定を実行する第二の通信設定実行手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記第二の通信設定実行手段は、前記第二の通信設定時に、前記デバイスとの接続が成立したか否かの確認を前記無線インターフェース経由で行う接続確認手段を有することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記第二の通信設定実行手段は、前記第二の通信設定を実行するために、必要な通信設定情報を前記有線インターフェース経由で取得することを特徴とする請求項１或いは２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
前記第二の通信設定実行手段は、前記第二の通信設定を実行するために、必要な通信設定情報を前記デバイスに設定するためのコマンドを前記有線インターフェース経由で送信することを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載の情報処理装置。
【請求項５】
ユーザからの指示に応じて、前記第一の通信設定に対応するアイコン及び前記第二の通信設定に対応するアイコンのいずれか一方、または両方を作成する作成手段を有することを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項６】
前記第一の通信設定の実行後に、前記第二の通信設定を実行するかをユーザに確認する確認手段を有し、
前記第二の通信設定実行手段は、前記第二の通信設定を実行するとユーザにより選択されるのに従って、前記第二の通信設定を開始することを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記第１の通信設定で設定された情報を削除する削除手段を有することを特徴とする請求項１乃至６のいずれかに記載の情報処理装置。
【請求項８】
有線インターフェースと無線インターフェースの両者を有するデバイスとの接続が可能な情報処理装置において、
前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするための第一の通信設定を実行する第一の通信設定実行手段と、
前記第一の通信設定の実行後に、前記デバイス側の設定情報を前記有線インターフェース経由で取得し、該設定情報を参照して、前記デバイス側での前記無線インターフェースに関する設定状況を判断する判断手段と、
前記判断手段の判断結果に応じて、前記無線インターフェースを使用して前記デバイスとの間で通信を可能とするための第二の通信設定を実行する第二の通信設定実行手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。
【請求項９】
有線インターフェースと無線インターフェースとを有するデバイスと通信可能な情報処理装置で行われる通信設定方法において、
前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするためのソフトウェアであるデバイスドライバを前記情報処理装置にインストールするインストールステップと、
前記デバイスドライバのインストール後、前記有線インタフェース経由で前記デバイスと通信して、前記デバイスと前記ホスト装置とが無線インターフェース経由で通信するための通信設定を実行する設定処理ステップとを有することを特徴とする通信設定方法。
【請求項１０】
有線インターフェースと無線インターフェースとを有するデバイスと通信可能な情報処理装置で行われる通信設定方法において、
前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするためのソフトウェアであるデバイスドライバを前記情報処理装置にインストールするインストールステップと、
前記デバイスドライバのインストール後、既に設定完了済みの前記デバイス側の無線インターフェース設定情報を前記有線インターフェース経由で取得する取得ステップと、
取得した前記無線インターフェース設定情報を基に、前記デバイスと前記情報処理装置とが無線インタフェース経由で通信するための通信設定を行う設定処理ステップとを有することを特徴とする情報処理システムの通信設定方法。
【請求項１１】
有線インターフェースと無線インターフェースとを有するデバイスと通信可能な可能な情報処理装置の制御方法を実行するための制御プログラムであって、
前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするための第一の通信設定を実行する第一の通信設定実行モジュールと、
前記第一の通信設定の実行後に、前記有線インターフェース経由で前記デバイスと通信して、前記無線インターフェースを使用して前記デバイスとの間で通信を可能とするための第二の通信設定を実行する第二の通信設定実行モジュールとを備えたことを特徴とする制御プログラム。
【請求項１２】

有線インターフェースと無線インターフェースとを有するデバイスと通信可能な情報処理装置の制御方法を実行するための制御プログラムであって、
前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするための第一の通信設定を実行する第一の通信設定実行ステップと、
前記第一の通信設定の実行後に、前記デバイス側の設定情報を前記有線インターフェース経由で取得し、該設定情報を参照して、前記デバイス側での前記無線インターフェースに関する設定状況を判断する判断ステップと、
前記判断ステップの判断結果に応じて、前記無線インターフェースを使用して前記デバイスとの間で通信を可能とするための第二の通信設定を実行する第二の通信設定実行ステップとを備えたことを特徴とする制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記目的を達成するために、本発明の情報処理装置では、有線インターフェースと無線インターフェースとを有するデバイスと通信可能な情報処理装置において、前記有線インターフェース経由で前記デバイスの制御を可能にするための第一の通信設定を実行する第一の通信設定実行手段と、前記第一の通信設定の実行後に、前記有線インターフェース経由で前記デバイスと通信して、前記無線インターフェースを使用して前記デバイスとの間で通信を可能とするための第二の通信設定を実行する第二の通信設定実行手段とを備えたことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
以上詳細に説明したように、請求項１，３，４，５，６，７，９，１１の発明によれば、無線インターフェースを使用してデバイスとの間で通信を可能とするための通信設定を有線インターフェースを使ってより簡単に実現することが可能になる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
請求項８，１０，１２の発明によれば、２台目以降の情報処理装置における無線インターフェースの通信設定においても、１台目と同様に、有線インターフェース経由で簡易に通信設定を実行することができるので、ユーザオペレーションを統一して、設定時の誤操作を削減することが可能になる。